

◆関連会議

## 平成 29 年度沖縄県青壮年・女性漁業者交流大会

水産海洋技術センター 久保弘文

平成 29 年 10 月 27 日（金）に沖縄県水産会館 5 階ホールにおいて、沖縄県と沖縄県漁業協同組合連合会の共催により、第 23 回沖縄県青壮年・女性漁業者交流大会が開催された。

本大会は、本県における漁村青壮年・女性漁業者及び研究グループ等の自主的な活動実績を発表し、相互の知識の交流、活動意欲の向上及び成果の普及を図ることにより、今後の漁村社会の発展に寄与することを目的として毎年開催されている。

今年度は、与那原・西原漁協女性部の仲松ナエ氏（助言者：米丸浩平普及指導員）が「地元特産品与那原産ヒジキを皆に食べてもらうために」、恩納村漁業協同組合青年部の金城勝氏（助言者：上原匡人普及指導員）が「モズク産地として誇れる村づくり」、八重山漁業協同組合青年部の宮良当建氏（助言者：赤嶺貴史普及指導員）が「万里一空、漁業での成功に向けて」と題し、それぞれの取り組みを発表した。今年度は平成 19 年から 10 年ぶりに 3 題の実績発表となり、非常に高レベルで甲乙つけがたい内容であったと講評された。また、沖縄水産高等学校総合学科海洋生物系列 3 年 安里海優香さん、照屋舞さん、比嘉海斗君が

「沖縄県産フルーツフィッシュの開発」、宮古総合実業高等学校食と環境科フードクリエイトコース 3 年 善福友陽さん、下地貴莉子さん、石嶺誉君、狩俣楠月さんが、「グルクンとそばの実で宮古島の課題解決に挑戦!!～地域と連携したソース作り～」と題した体験発表も行われた。同大会にあわせ、平成 29 年度指導漁業士 5 名（青年漁業士 嘉納直彦氏（伊平屋漁協）：モズク養殖、潜水漁業）、我部政利氏（伊平屋漁協）モズク養殖、潜水漁業、宮良当建氏（八重山漁協）パヤオ漁、集魚灯漁業、指導漁業士 井口勝氏（沖縄市漁協）パヤオ・ソデイカ、安里彰徳氏（勝連漁協）モズク養殖）の県知事認定式も執り行われ、認定書を授与された。

なお、最優秀賞（県知事賞）は恩納村漁業協同組合青年部の金城勝氏、漁連会長賞に仲松ナエ氏と宮良当建氏が受賞した。うち、青年部代表として金城氏、女性部代表として仲松氏が、平成 30 年 2 月 29 日～3 月 2 日に、第 23 回全国青壮年・女性漁業者交流大会（東京開催）へ県代表として派遣され、金城氏が水産庁長官賞、仲松氏が JF 共水連会長賞を受賞した。

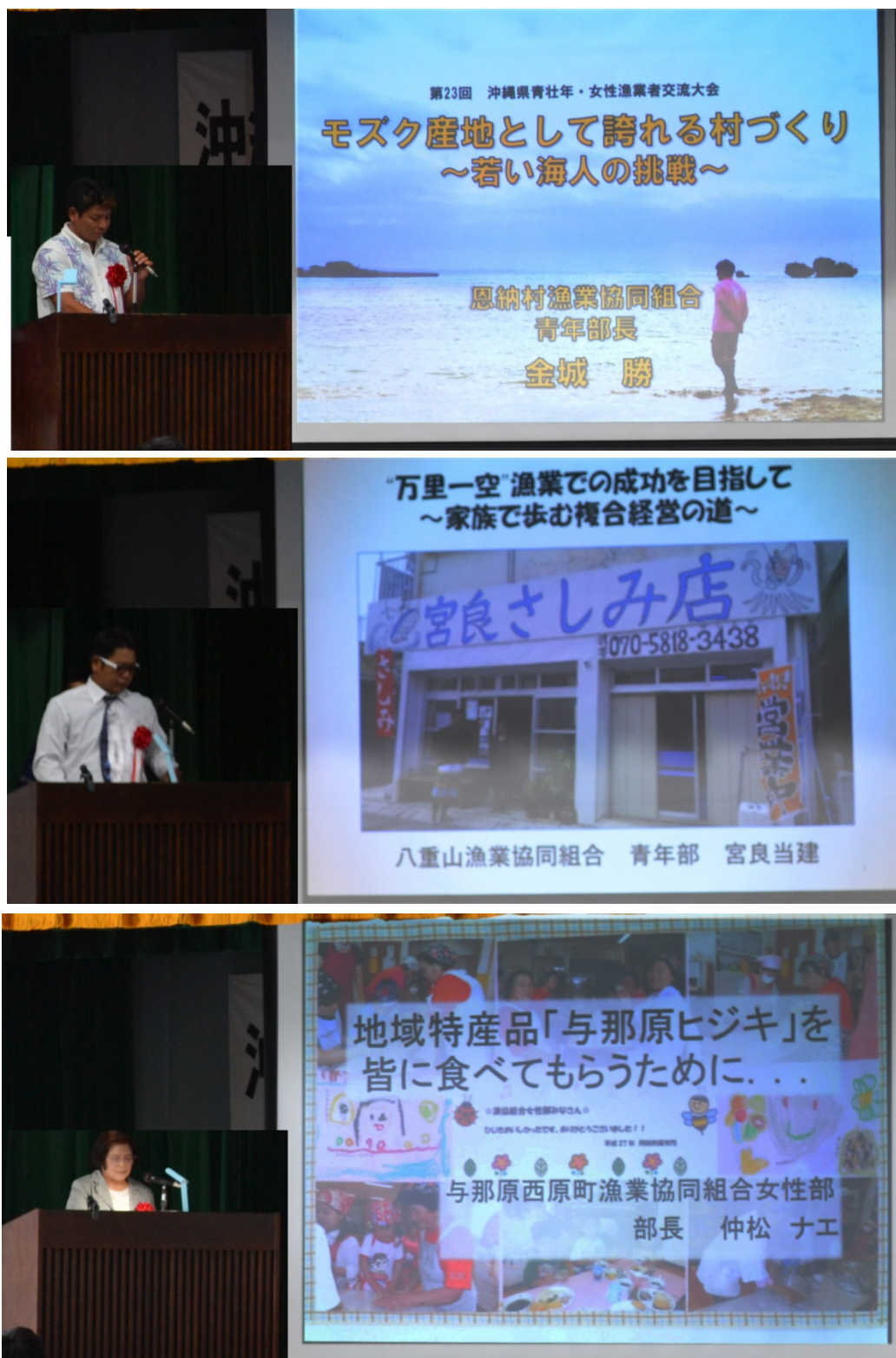


図1. 実績発表風景（上から金城氏、宮良氏、仲松氏）